

カリスマ選手が教える 技術向上のためのコンテスト活用法

全国のKeeper施工者の技術力向上を目的とする、キーパー技術コンテストを2019年も開催します。年々レベルがアップし、わずかな拭き残しやミスが、勝負を分ける高得点の争いとなっています。そんな厳しい戦いを勝ち抜いてきた高い技術を身につけた選手たちは、コンテストを通して、また活用して、どのように技術を高めてきたのでしょうか?3人のカリスマ選手にお話を聞きました。

第5回 2018年 キーパー技術コンテスト全国準優勝

川福石油(株) 高野口SS 山本 麻由 選手

作業ごとに時間を決めて スピードに慣れ、動きを修正していく。

昨年は、2回目のコンテスト出場でした。2017年の全日本チャンピオン決定戦では、準決勝3位通過、決勝11位という結果でした。とても悔しく、2018年の目標は、「全日本チャンピオンを獲ること」と決めて練習をしました。

年々、出場者のレベルが上がり、施工スピードがはよくなっていると感じていたため、まずは施工する時にそれぞれの作業ごと、爆ツヤ、ガラス、レジンを時間決め、施工を行いました。時間を決めて施工することで、だんだんそのスピードに慣れていきます。

次に施工時の隙間や、手数、効率の良い作業を行えるように、たくさん修正をしました。その際、店舗のスタッフに自分の作業を動画で撮ってもらいました。自分の施工を見て、きちんと理解をした上で、施工の修正をしました。練習する時は、細かくパネルごとに練習をし、反復しました。もちろんお客様の車を施工する時も1台1台集中して施工しました。

コンテスト終了後には、技術コンテスト全国チャンピオン決定戦準優勝の横断幕を作り、キーパープロショップの店舗情報にも載せると、「チャンピオンに施工してほしい」と遠方からのお客様が増えました。それらのお客様は、圧倒的にダイヤモンドキーパーを選ばれる方が多く、ダイヤモンドキーパーの施工が増えました。

今は、店舗で次世代の教育をしています。入社4カ月の18歳のスタッフにクリスタルキーパーを教えています。自分が伝えられることを精一杯伝え、自分と同じように全国大会に出場できるように応援したいと思います。



第5回 2018年 キーパー技術コンテスト三重県チャンピオン

(株)ENEOSウイング 中部支店 Dr.Driveあま七宝SS
長谷川 和也 選手

上手い人の施工を見て、 1台1台真剣に集中して施工をすること。

キーパー技術コンテストは、前회가初出場でした。出場した理由は、自分の施工が上手いのかどうかを知り、また近隣店舗の人たちのレベルを勉強したかったからです。上手くなるポイントは「1台1台真剣に集中して施工をすること」。通常は10~15台/月、繁忙期は100台/月くらい施工をします。マニュアルを崩さないことが上手くなるポイントです。

また「歴代のチャンピオンビデオをとにかく見ること」。何回もチャンピオンビデオを見ました。特に安藤選手の動画はよく見ました。爆ツヤの作業~ガラス~レジンの作業まで、すべて無駄のない連続した作業をしていて、自分もならって練習をしました。ワゴンからクロス、スポンジを持ちかえる作業もとても素早く、勉強になりました。全日本チャンピオン戦に出場してから、施工に責任を感じるようになり、今まで以上に品質向上に努めました。

全日本チャンピオン戦ファイナリストの横断幕を見た方から、問合せや予約が増え、施工につながりました。月に10~20名の方が新規でチャンピオンに施工してほしいと来店されます。コーティング収益は、大幅に伸びました。

今年は競技にダイヤモンドキーパーがあります。当店では、ダイヤモンドキーパーの施工がとても多く、施工に自信があります。悔しい思いをしたので、次は全日本チャンピオンになれるよう、どの車種の施工を任せられても同じ施工ができるように集中しています。



第5回 2018年 キーパー技術コンテスト山梨県チャンピオン

穴水(株) Dr.Drive田富店 武井 征矢 選手

自分の施工を客観的に見て、苦手な作業を克服する。

キーパーは9年前にはじめ、昔からピュアキーパーが大好きでした。クリスタルキーパーの基本の動作は、ピュアキーパーがベースになっているので、マニュアルを崩さないことを意識し、日々施工をしました。

第1回のコンテストでは、もっと上手くなるために施工時間を意識し、毎回時間を決め、施工しました。特に時間を意識したのは、ダイヤモンドキーパーケミカルの作業。5~6分をめざして施工をしました。また苦手だったレジンの作業は、矢部選手のチャンピオンDVDを参考にし、拭き上げ作業が楽になりました。あとは自分の施工を動画で撮って見ること、不得意なところが分かり、上手くなるきっかけになったと思います。

昨年の全国大会が終わり、チャンピオン横断幕を店舗に掲げると、自社ホームページからコーティング予約される方が増えました。月に3~5台で、そのお客様のほとんどがダイヤモンドキーパーです。また、手洗い洗車のお客様もホームページを見て、遠方から来店される方も増えました。長野県から来られた方もいました。店頭では、横断幕によってスタッフがお客様と話すきっかけとなり、会話が増え、コーティング・洗車以外の商品の実績も良くなりました。

今年のコンテストには出場できませんが、各店舗から1名ずつ、9名の若手スタッフを集め、技術研修を行っています。この中から、全日本チャンピオンに出場できるスタッフを輩出できるよう、ともに上手くなっていきます。

